令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名:高校教育指導課 担当名:教育課程担当 内線:7391

内線: 7391 (単位:千円)

番号事業名		会計	款	項	H	F 1/bK · 13:	説明事業	(半位・1円)
P18 県立高校教育環境整備支援事業			教育費			指導内容充実費	*	
事業 平成25年度~ 根拠 障害者基本法、地方教育行法 期間 法令 障害を理由とする差別の解析	7消の推進に関する法			務費 針路 野施策		 『活躍し共に生きる社会の 『の自立・生活支援		4 4-1, 4-3, 4-5
1 事業の概要 インクルーシブ教育の理念に基づき、障害のある生徒 が、県立高校で安心・安全な学校生活を送れるよう支援 を行う必要がある。 県立高校に生活介助支援員を配置し、身体障害のある 生徒の日常生活の介助を行う。		ある生徒	に対し、	日常生活		に生活介助支援員を配置 (車椅子等)の貸与	1,060千月	Ч
また、高校通級制度の開始に伴い、研究校を指定し通 級指導の研究を行う。	イ 県立高校通			血 宏协:	な投会)活気性	導の研究を行う。	8,603千月	円
ア 県立高校教育環境整備支援事業 △1,300千円 イ 県立高校通級指導研究事業 △2,752千円 予算の節減及び見込みを下回ったことによる減額	(2)事業計画 ア 県立高校教 障害のある 支援を行って	育環境整 高校生が いく。	編支援事 安心・第	事業		よう、生活介助支援員の	配置など新しい視点	
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)	イ 県立高校通 研究校にお を研究する。			の実施、i	通級理解の促進	、教材等の整備を行い、	適切な指導体制の在	り方
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分)高等学校費 (細目)生徒経費 (細節)生徒経費 (細節)生徒経費 (積算内容)特別支援教育支援費 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 の,500千円×0.8人=7,600千円 (3)事業効果 ア 県立高校教育環境整備支援事業 各学校における支援の標準化 安心で安全な学校生活環境の整備 イ 県立高校通級指導研究事業 適切な通級指導体制の確立 (4)補正予算の概要 予算の節減及び見込みを下回ったことによる減額								
	財	源	内	訳				補正後の
予算額							一般財源	予算額
決定額 △4,052							△4, 052	9, 663
現計額 13,715							13, 715	

事業内訳書

事業名	県立高校教育環境整備支援事業		
単位事業名	県立高校教育環境整備支援事業	予算額	△ 1,300千円

 ○歳入
 (単位:千円)

 款・節
 補正予算額
 対前年度増減額
 主な内容

 一般財源
 △1,300
 —

○告出 (単位・千円)

△1, 300

合計

<u> </u>			(単位:十円)_	
節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容	
報償費	△550	_	有償ボランティア等が見込みを下回ったことによる減	
役務費	△650	_	校外行事における支援が見込みを下回ったことによる減	
使用料及び賃借料	△100	_	福祉器具の使用料が見込みを下回ったことによる減	
合計	△1, 300	_		

単位事業名	単位事業名 県立高校通級指導研究事業			予算額	△ 2,752千円
○歳入					(単位:千円)
款•節	補正予算額	対前年度増減額		主な内容	

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△2, 752	_	

					1
単位事業名	県立高校通級指導研究事業			予算額	△ 2,752千円
					(単位:千円)
款・節	補正予算額	対前年度増減額	=	主な内容	
合計	△2, 752	_			
〇歳出					(単位:千円)
節	補正予算額	対前年度増減額	-	主な内容	
報償費	△2, 150	_	 臨床心理士等の謝金が見込みを 	下回ったこと	とによる減
旅費	Δ113	_	執行留保等による旅費の減		
需用費	△364	_	執行留保等による消耗品費の減	ţ	
使用料及び賃借料	△125	_	執行留保等による会場使用料 <i>の</i>)減	
合計	△2, 752	_			